

## 臨床研究の実施に関するお知らせ

現在、大阪国際がんセンターでは、下記の臨床研究を実施しております。  
この研究では、患者さんの日常診療で得られたデータを利用させていただきます。  
研究の計画や内容などについて詳しくお知りになりたい方、ご自身のデータがこの研究で利用されることについて異議のある方、その他ご質問がある方は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。

### ●研究課題名

非小細胞肺癌におけるアテゾリズマブ、ベバシズマブ、カルボプラチン、パクリタキセル療法の有用性を評価する多施設後方視的研究

### ●研究の目的と意義

わが国における肺癌の死亡数は部位別の癌死亡数で男女とも第1位となっています。従来、進行肺癌に対する治療としては、細胞障害性抗癌薬（いわゆる抗癌薬）に限られていました。しかし、近年、免疫チェックポイント阻害薬という薬剤が開発され、生命予後が大幅に改善されることが明らかになりました。さらに、免疫チェックポイント阻害薬と細胞障害性抗癌薬の併用療法によりさらに生命予後が改善されることが示されました。

本研究ではその中で、アテゾリズマブ、ベバシズマブ、カルボプラチン、パクリタキセル療法の実臨床下での有効性や効果予測因子を検討することによって、より適切な治療選択につなげることを本研究の目的としています。

### ●対象となる患者さん

2019年1月から2025年3月までにNHO近畿中央呼吸器センター、大阪国際がんセンターでアテゾリズマブ、ベバシズマブ、カルボプラチン、パクリタキセル療法による治療を行われた患者さん

### ●使用させていただく診療データ

- ・ アテゾリズマブ、ベバシズマブ、カルボプラチン、パクリタキセル療法の有効性（奏効率、無増悪生存期間、全生存期間）と安全性、副作用
- ・ 年齢、性別、喫煙歴、前治療歴、予後といった患者さんの情報
- ・ 実施した遺伝子変異の検査結果
- ・ 実施したPD-L1検査とその結果

### ●個人情報の取り扱いと倫理的事項

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。情報は研究代表者をはじめとした当院の共同研究者のみで共有します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解頂けない場合は、以下にご連絡ください。なお、その場合においても患者さんが診療上不利益を被ることは一切ありません。なお、試験終了後のご連絡には申し訳ありませんが対応できません。

### ●問い合わせ先

大阪国際がんセンター 呼吸器内科

田宮 基裕

住所：大阪市中央区大手前 3-1-69 電話：06-6945-1181（代表）